

【オリコンサルグローバル 自動運転実証実験 インドネシアで開始 交通利便性向上へ】

自動運転  
実証実験

## インドネシアで開始

オリコンサル  
グローバル 交通利便性向上へ

オリエンタルコンサルタ  
ンツグローバルが参画する  
インドネシアでの自動運転  
モビリティの実証実験が始  
まった。同国バンテン州タ  
ンゲラン県のBSDシテイ  
に自動運転シャトルバスを  
導入。居住者を対象に運行  
することで交通利便性の向  
上や、交通渋滞の解消によ  
る二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の  
削減を図る取り組み。5月  
20日に現地では実証実験の開  
始を記念したセレモニーが  
行われた。

実証実験は国際協力機構  
（JICA）の民間連携事  
業の一環。「インドネシア  
国BSDスマートシテイの  
実現に向けた自動運転モビ

リティサービス普及・実証  
・ビジネス化事業」で三菱  
商事とマクニカが事業提案  
者となって実施する。オリ  
コンサルグローバルは事業  
計画の分析や実証実験の計  
画、実験モニタリングなど  
の業務を支援する。

実証実験のフェーズ1で  
は5～8月にショッピング  
モールを対象に運行し、フ  
ェーズ2では8月～202  
3年1月にビジネスパーク  
で運行する。オリコンサル  
グローバルは現地パートナ  
ーと連携し、ビジネスモデ  
ルの検討や実証のためのモ  
ニター調査を担う。

BSDシテイは大規模な  
都市開発地区。事業では圏  
内の交通移動手段として自  
動運転モビリティサービス  
のビジネスモデルの実証を  
目指す。

セレモニーにはインドネ

シア側からはブディ・カリ  
ヤ・スマディ運輸大臣らが、  
日本側からは田村政美臨時  
代理大使、安井毅裕JIC  
Aインドネシア事務所長ら  
が出席した。